

ART AND CULTURE SUMMER CAMP 2018、 シラパコーン大学 × 常葉大学

Art and Culture Summer Camp 2018, Silpakorn University × Tokoha University

キーワード：

シラパコーン大学
ワークショップ
サマーキャンプ
文化交流
国際交流

本学とシラパコーン大学は、2017年に提携を結んでいる。今回は、海外留学生支援プログラム実施ということでシラパコーン大学デコレティヴ・アーツ学部主催のワークショップに招待させて頂いた。8月20日から29日の間、造形学部の学生18名が参加した。ワークショップでは作品制作を通してタイの学生と交流した他、文化研修として寺院や文化遺産、博物館を見学することでタイへの理解を深めた。

はじめに



本学とシラパコーン大学は、2008年の同校への訪問に始まり、2017年には提携を結んでいる。今回、海外留学生支援プログラム実施についてシラパコーン大学デコレティヴ・アーツ学部主催のワークショップ「Art and Culture Summer Camp 2018」に招待させて頂き、8月20日から29日の間、造形学部の学生18名が参加した。ワークショップの内容は「陶芸」「ファッション」「ジュエリー」と幅広く、タイの学生と作品制作を通して学び、交流を深めた他、文化研修としてエメラルド寺院や涅槃寺などの文化遺産や国立美術館を見学した。



修了証書授与

シラパコーン大学デコレティヴ・アーツ学部

1956年にシラパコーン大学デコレティヴ・アーツ学部(Faculty of Decorative Arts, Silpakorn University)を創立した。現在、シラパコーン大学デコレティヴ・アーツ学部は下記の7学科がある。

- インテリアデザイン学科
Department of Interior Design
- ビジュアルコミュニケーション学科
Department of Visual Communication Design
- プロダクトデザイン学科
Department of Product Design
- アプライドアートスタディーズ学科
Department of Applied Art Studies
- セラミックス学科
Department of Ceramics
- ジュエリーデザイン学科
Department of Jewelry Design
- ファッションデザイン学科
Department of Fashion Design

デコレティヴ・アーツ学部には二つのキャンパスがある。

- タープラ宮殿・キャンパス
Wang Tha Phra Campus
31 Na Prha Lan Road, Phra Nakorn District
Bangkok 10200, THAILAND
Tel.: +66 2 221 5874
Fax.: +66 2 225 4350
- サナムチャン宮殿・キャンパス
Sanam Chandra Palace Campus
Silpa Bhirasri Building 3
6 Rajamanka Nai Road, Amphoe Muang, Nakhon Pathom Province 73000 THAILAND
Tel.: +66 3 427 5030, +66 3 427 0413
Fax.: +66 3 427 0412

<http://decorate.su.ac.th>

Art and Culture Summer Camp 2018 のプログラム

〈主催〉

シラパコーン大学デコレティヴ・アーツ学部

〈対象〉

常葉大学造形学部 (18名)

〈期間〉

2018年8月20日(月)～8月29日(水)

〈概要〉

本学の学生たちは、一連のワークショップや文化交流活動、またデコレティヴデザインに関連する美術展やギャラリー、スタジオへの訪問を通じて、タイの美術や文化に理解を深めた。文化交流や作品制作を通じて国際色豊かな経験を得る中で文化への理解や多様性を感じるなど、国際交流能力やグローバルコミュニケーションの重要性を再認識した。

〈ワークショップ〉

- ・ブローチ制作
- ・Tシャツ染め
- ・小物制作
- ・バティック制作
- ・ジュエリー制作

〈見学〉

- ・ラマ2世記念公園 (アンパワー)
- ・ココナツ砂糖の農園
- ・ワット・プラバトムチェーディー
- ・サナムチャン宮殿
- ・キャンパス・ツアー
- ・暁の寺 (ワット・アルン)
- ・陶芸ギャラリー
- ・バンコク国立美術館
- ・オープンキャンパス
- ・ジュエリーデザイン学科
- ・エメラルド寺院 (ワット・プラケーオ)
- ・涅槃寺 (ワット・ポー)
- ・ミュージアム・サヤーム



Art and Culture Summer Camp 2018 に参加した学生

日程 8月21日(火)

担当 絵画・彫刻・版画学部(Chaiyosh Isavorapant)

見学 ラマ2世記念公園 (アンパワー)

ココナツ砂糖の農園



日程 8月22日(火)

担当 セラミックス学科 (Thatree Muangkaew)

見学 ワット・プラパトムチェーディー

サナムチャン宮殿

キャンパス・ツアー



日程 8月22日(水)

担当 セラミックス学科 (Thatree Muangkaew)

授業 ブローチ制作

概要 小さく丸めた粘土を押し潰し、五円玉程度で大まかな形を作っていく。串を用いて作りたい形の周縁の粘土を切り離していき、縁を整える。一塊の粘土だけの制作だが穴をくりぬいたり、線を引いたり、パーツ分けをしたりなど表現の差別化がされた。逆に制限がある事によって要素が洗練され、自己表現がシンプルに現れていた。立体感のあるものや緻密なものなど様々なブローチが出来上がった。

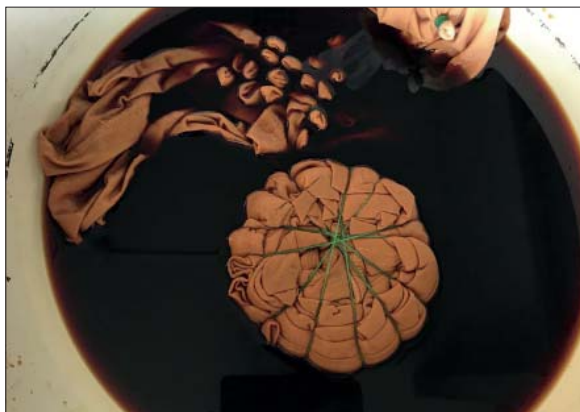


日 程 8月23日(木)

担 当 ファッションデザイン学科 (Dr.Anugoon Buranaprapuk、Piyawat Pattanapuckdee、Subhachog Jumsai Na Ayuthaya、Panot Pluemchusak、Seree Thianjalee)

授 業 Tシャツ染め

概 要 赤、ピンク、黄、茶、紫の6色を使い、Tシャツに染色液で染める体験をした。染め方には多くの種類があり、一色のみや多色を組み合わせてグラデーションをつけるなど、液体への浸け方次第で何通りものTシャツができあがる。模様は輪ゴムを使って染める前のTシャツを部分的に縛り、シワをつける事で染色液の染み込み具合を変化させ模様をつける。浸けた後は自然乾燥させる。乾かしている最中はジャガイモを使って、イラストやイニシャルを掘ったスタンプを制作した。最後に乾燥後のTシャツへ、先ほど制作したスタンプを用いて描き完成させる。



日 程 8月24日(金)

担 当 セラミックス学科 (Asst.Prof. Sayumporn Kasornsuwan、Pookan Chunnuan)

授 業 小物制作

概 要 テーマは「動物」。ラフスケッチした後にタイの先生に見ていただきアドバイスを貰う。スケッチを元に粘土での制作に入る。まず大きな粘土から使う分の粘土を切り取り、柔らかくなるまでこねる。最初は大きめの形を作り、徐々に細部を象っていく。細部はヘラを用いて仕上げる。大きいものを作る場合は焼いた時の割れを防止のため、中を空洞にする。パーツの接合部や焼いた時に取れそうな部分は糊で接着する。糊は粘土を水で薄めたもので、刷毛で接合部に塗る。形が出来上がると釜に入れ、焼く。焼いている最中に表現方法や技術の授業が行われた。多様な表現がある事を教えていただいた。



日 程 8月24日(金)

担 当 絵画・彫刻・版画学部

授 業 バティック制作

概 要 蠟で絵や模様をおこすバティック制作をした。まず蠟結染めという技法を使い、布の上から色鉛筆で絵を描き、輪郭線をチャンティンという道具で蠟を垂らしていった。この工程は修正が出来ず、緊張感で引き締まった様子だった。また、チャンティンの傾き次第で蠟が溢れ出すため、とても繊細な技術と集中力が要された。絵付けの作業では、絵の具と水分の比率によって色の濃淡が変化していき水彩画の様に楽しめた。最後は、脱蠟という作業で垂らした蠟を布から落として完成させた。



日 程 8月26日(日)

担 当 セラミックス学科 (Thatree Muangkaew)

見 学 暁の寺 (ワット・アルン)

陶芸ギャラリー

バンコク国立美術館



日程 8月27日(月)

担当 セラミックス学科 (Thatree Muangkaew)

見学 オープンキャンパス

概要 シラパコーン大学(サナムチャン宮殿・キャンパス)のオープンキャンパスとキャンパスツアー。美術学部とデコレーティブアート学部を中心に巡った。作品展示や授業見学、体験授業などが行なわれていた。シラパコーン大学を志望するタイの高校生が大勢来ていた。学生はそれぞれグループに分かれて、興味がある学科の体験授業に参加し、通訳なしでタイ人と直接コミュニケーションをした。



日程 8月27日(月)

担当 ジュエリーデザイン学科 (Chartchay Kuntik, Asst.Prof.Dr.Pathamaphurn Praphitphongwahit, Onuma Wichaikul)

授業 ジュエリー制作

概要 ジュエリーは針金を約1.5cmほどに均等に切断し、その切断した一つ一つを繋げていきネックレスなどのジュエリー作るというもの。作り方は針金の先端を専用の用具ではさみ、もう一方の先端を持ち綺麗な円形になるように曲げる。この作業を繰り返し繋げていくことでネックレスやブレスレットになる。また、針金は固いものではなく比較的柔らかいものなので自由な形に変形できる。例えば、渦巻き模様だったり、星型だったり具体的なものまで、こだわりによっては様々なジュエリーに仕上がっていた。



日 程 8月27日(月)

見 学 ジュエリーデザイン学科

概 要 ジュエリーの制作を終えたあとに他のクラスでシラパコーン大学の先生が授業を受けているのでそこに見学をした。皆見学をしに来た私たちには目もくれず制作にすごく集中している。彼らが行っていたのは、金属の薄い板を専用の切断機を使って自分たちが作りたい花を表現していた。作り方は教わってはないが皆、金属に光沢を出すためにヤスリを使って磨いたり、形にずれがあれば細かく修正していくなど様々で、皆制作に没頭していた。作品制作の途中段階ではあるが、少し見せてもらおうと金属とは思えないくらい完成度もあり、興味が尽きない。今回のジュエリーの体験もそうだがとても興味深いことばかりで、普段考えていることとはまた違った発想力などが必要になりとても良い刺激になったと考えられる。



日 程 8月28日(火)

担 当 ビジュアルコミュニケーション学科

見 学 エメラルド寺院(ワット・プラケーオ)

涅槃寺(ワット・ポー)

ミュージアム・サヤーム

